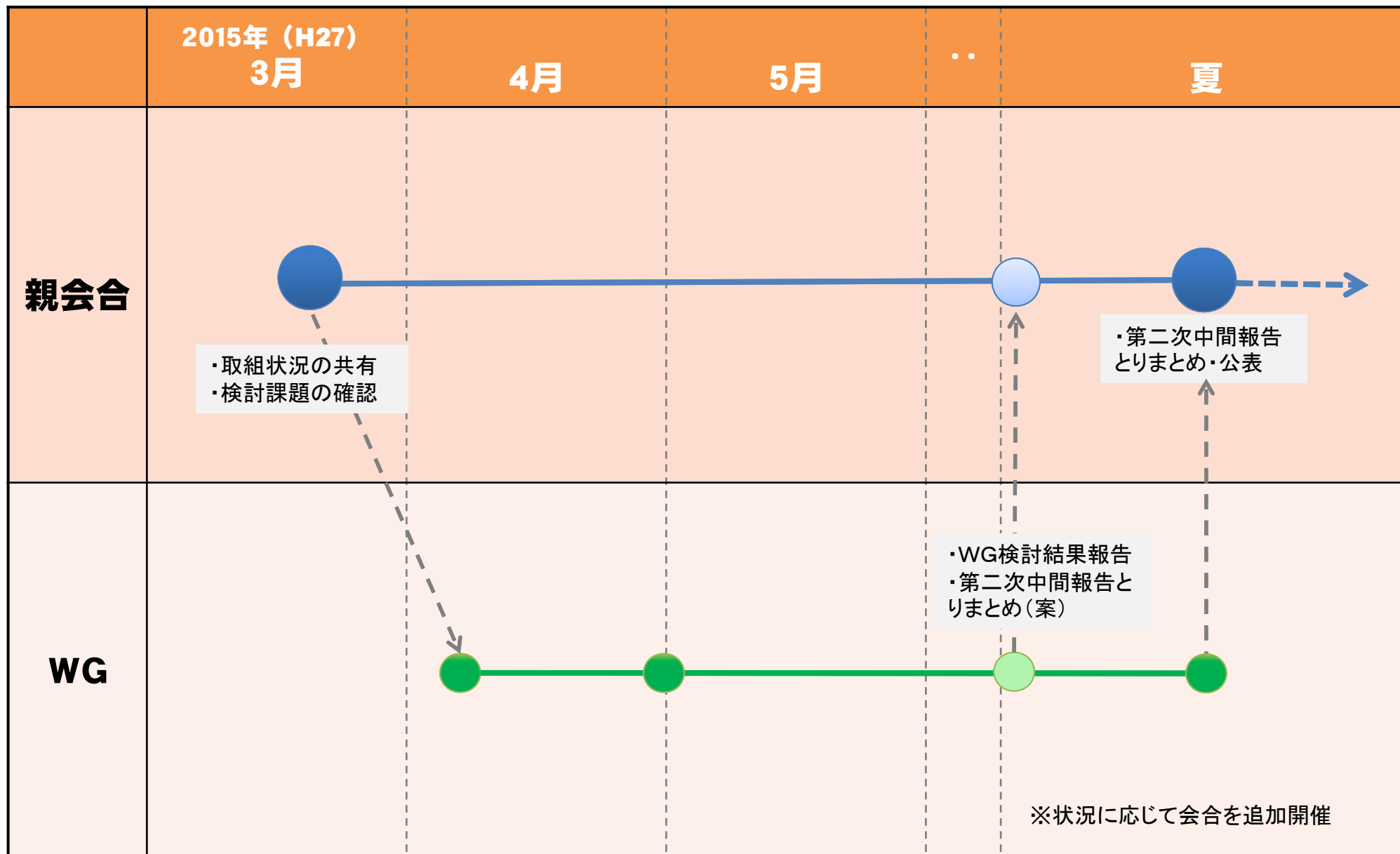


フォローアップ会合 今後の検討スケジュール

資料5-2



「フォローアップ会合 中間報告」における今後の検討課題

送信

対象とする伝送路

- ・110度CS左旋
 - ① 既設建築物内の配線の広帯域伝送対応
 - ② 他の既存無線局(無線LAN、携帯電話等)との干渉対策
⇒引き続きARIB等において技術的な検討
- ・新たに利用可能となる伝送路
BS左旋等の国際調整等

サービス充実のための帯域確保

- ・4K・8Kを推進し、一層サービスを充実させるためにHEVC方式による放送の帯域をどのように確保していくかについても議論

2018年以降の対象伝送路

- ・今後、技術の進展を考慮するとともに、帯域再編や110度CS左旋の検討及びBS左旋の国際調整状況も踏まえつつ、2018年の目標の一層の具体化に関して、2015年夏頃を目途に結論が得られるよう引き続き検討
- ・多様な主体による制作環境の整備を促進するため、4K・8Kコンテンツ制作の新たな担い手を育成するための取組

受信

4K・8K対応の受信機の開発・市場投入時期

- ・4K・8Kの実用放送
受信機を開発・市場投入するための環境整備(民間規格・運用規定の整備等)
⇒NexTVフォーラム等における速やかな検討
- ・8K受信機
HEVCに対応したデコーダの開発等、必要な技術開発を推進
- ・CAS
より安全な仕組みを有するコンテンツ保護・限定受信方式について検討

その他

ロードマップの対象期間の延長

- ・今後の見直しにおいては、中長期的な目標を設定する観点から、必要に応じ、「2025年」ないし「2030年」までを展望

地上放送の取扱い

- ・欧米、韓国等の取組や2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催も踏まえつつ、総務省、放送事業者等により技術面等の検討から開始
- ・都市部における地上波による伝送実験等を検討

「今後の検討課題」について、引き続き検討を進めていくため、
今後も引き続き適宜の時期に本フォローアップ会合を開催し、4K・8Kを着実に推進